

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 栄光園 児童養護施設 栄光園
------	--------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成27年9月24日、25日

③事業者情報

名称：社会福祉法人 栄光園 児童養護施設 栄光園	種別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 友永丈一	定員：40名（利用人数：30人）
所在地：大分県別府市南荘園町3組 TEL：0977（23）2827	

④総評

◇評価の高い点

- 施設運営は、歴代の法人代表の思いを大切にし、理念や基本方針に沿った支援が行われている。子どもたちは一人ひとり課題を抱えて施設を利用しているが、子どもたちの思いを大切に、健やかな日々が送られるように小グループのユニットに分け、ハード面・ソフト面を整備している。施設代表者は、自らの役割や責任を明らかにしてリーダーシップをとり、全職員で専門性を活かした支援をしている。
- 小規模化により家庭的な雰囲気の中で、児童と職員間の信頼関係の絆がより深くなり児童のための施設づくりに取り組んでいる。
- 食育に特に配慮し、食事はみんなで過ごす楽しい時間を提供している。また、嗜好調査等から残食が出ないように工夫している。
- 「児童会」、「応援の時間」等で児童が主体的に発言できる工夫がされている。
- 施設の役割や機能を発揮するため、児童相談所や病院・学校・地域など数多くの関連機関と連携をとっている。
- 長い歴史の中で地域住民との触れ合いが培われ、困りごと相談や施設の広場を地域の子供たちのスポーツ等に解放したり、イベント開催時は駐車場として提供している。

◇改善を求められる点

- 児童間等のトラブルについて、早期に職員間で問題点を把握して施設全体で取り組むことを期待する。
- 児童の発達段階に応じて自立支援計画書が作成されているが、支援目標は全児童が理解して、目標が達成できるように「褒める」事が繰り返されることを期待する。
- 安全確保の体制づくりはできているが、敷地が広いことから児童の安全管理について、危険と思われる箇所等を再度職員間で見直し、事故などの未然防止に努めるとともに、リスクの種類別に責任と役割を明確化し、施設外で遭遇する犯罪や事故の被害から、子ども達が自らを守るための知識を得るための支援の充実が望まれる。
- 研修計画は策定されているが、今後、さらに見直しを行い、職員一人ひとりの段階的な研修計画を作成されることを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

自己評価を2年続け、初めて第三者評価を受けました。
評価を受けるための準備は施設の体制を整える上で大変有効に機能したと考えております。評価の着眼点と現状の取組みについての考察は普段の取組みを見直す上でも改善項目を次々に列挙できて、次年度に向けて取り組む励みにもなりました。

子どもたちの養育内容を深め、職員の専門性を高める取組みと評価者の専門性を高めることは子どもの自立にむけた成長をより一層促す両輪のようにも思えます。お互いに協力し合っって子どもたちのしあわせのために励みたいと考えております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）